

年 月 日/

学校 年 組 番 なまえ

2024年10月26日付



白ナンバー車送迎実験

城里町は、高齢の町民が近隣の総合病院に通院する移動手段として、道路運送法上の交通空白地での特例に基づく普通家用車（白ナンバー車）を使っての有償送迎サービスの実証実験を今月から始めた。来年9月末まで続け、利用状況や課題を検証し、効率的な公共交通体系の再構築につなげる。

実験は「しろさとスマイルタクシー」の「のってく」で、同法で規定されている「自家用有償旅客運送（交通空白地有償運送）」の仕組みを活用。町は町社会福祉協議会に運行を委託し、白ナンバー車を、普通免許のドライバーの運転で、指定した水戸市など近隣3市1町

城里町 75歳以上の通院支援

の8カ所の総合病院への有償送迎を行う。利用者が支払う料金は距離制で1キロ100円に設定した。

あくまで「交通弱者」への便宜を図るのが目的で、サービスを受けられる資格を75歳以上、運転免許のない町民に限定した。送迎先は、町民の利用の頻度から、水戸赤十字病院、水戸済生会総合病院、水戸協同病院、誠潤会水戸病院（以上水戸市）、県立中央病院（笠間市）、水戸医療センター（茨城町）、常陸大宮済生会病院、志村大宮病院（以上常陸大宮市）とした。

9日、城里町石塚の自宅から、15キロほどの距離がある常陸大宮済生会病院（常陸大宮市田子内町）を往復する第1号の利用があった。利用した女性（83）は、城里町の上遠野修町長に「3カ月に1度通院がある。昨年夫が亡くなったから、民間のタクシーを利用しては、料金の負担が重かった。こういうサービスがあると助かる」と話した。

町は、この実証実験で使用する車両（5人乗り）2台を購入し、町社協に貸与。車両購入費と運転手の人件費などに本年度予算で約867万円を充てている。

利用には事前の申し込みが必要で、希望する1週間前までに町社協に電話予約する。町社協 ☎029(2688)7013。

（佐川友二）

「のってく」の最初の利用者（中央）を出迎えた城里町の上遠野修町長（左）。右は町社協のドライバー同町石塚

【問1】 城里町が白ナンバー車送迎実験を行うために活用した仕組みは？

道路運送法の「自家用優勝旅客運送（交通空白地有償運送）」の規定

【問2】 「しろさとスマイルタクシー のってく」が行うサービスは？

水戸市など近隣3市1町の指定された8カ所の総合病院への有償送迎

【問3】 「しろさとスマイルタクシー のってく」のサービスを受けられる人は？

75歳以上の運転免許のない城里町民



よ
読めない文字は、かざくや、ともだちにきいてみてね